

交通安全の一助になれば



町商工会では、6月10日の「商工会の日」に併せて町内のロードミラー清掃を実施しました。

参加者は、商工会役員・青年部と町建友会の会員を合わせた約40人で、車に清掃用具を積んで各地区を巡回し、260基のロードミラーを一つひとつ丁寧に磨き上げました。

恒例となつた活動に同会の木場盛一会長は「参加者の協力を経て、町民の皆さんのが安全を守る一助になれば」と話しました。

一点でも多く勝ち取りたい



5月18日に行われた、全日本卓球選手権

大会鹿児島県予選会を勝ち抜いた杉原沙良さん（獅子島小2年）が全日本卓球選手権大会（7月26日～28日・グリーンアリーナ神戸）へ、全国ホープス卓球大会鹿児島県予選会を勝ち抜いた獅子島卓球クラブ8人が全九州卓球選手権大会（6月28日～30日・あいハウジングアリーナ松元）へ出場することを6月12日に川添町長へ報告しました。岩下卓也コーチは「経験が浅い選手らだが、一戦でも多く一点でも多く勝ち取りたい」と意気込みを話しました。



稻作の大切さを学んでほしい

6月13日、川床小学校（黒川周一校長・98

人）3・4年生34人が、川床ホタルの里横の約100平方メートルの田んぼに手作業で田植えを行いました。苗は、5月28日に児童らが種類から植え付け、大切に発芽させました。

児童らに指導を行う榎元真二さん（川床下）は「手作業で行う機会が少なくなっているので、子どもたちに自然に触れながら稻作の大切さを学んでほしい」と話しました。平敷輝翔さん（3年）は「泥まみれになつたが楽しかった。おいしく育ててほしい」と田植えを楽しんだ様子でした。

